

看護の心を みんなの心に

「看護」というと、大変そう、難しそうと構えてしまうかもしれません。でも、そんなふうにいるあなたも、身近な人が病気になったときには、「早く元気になってほしい」と、自然に看病したり、身の回りの世話をしたりするのではないのでしょうか。健康なときは気づかないけれど、実は看護はだれにとっても身近なこと。そして、だれもが「看護の心」をもっています。



だれもが出会う看護

健康なときは、看護は自分には関係ないものと考えがちです。しかし、どんなに健康に自信があるという人でも、長い人生のなかでは、病気やけがをすることもあれば、高齢になって介護を必要とする身になるかもしれません。また、自分以外でも、子どもや配偶者、親など家族のだれかが病気やけがをすることもあるかもしれません。

そうしたとき、だれもが「看護」に出会うことになります。看護は、私たちが病気やけがをしたときに、その苦しみを和らげ、回復の手助けをしてくれるもの。医療機関で行う看護だけでなく、家族による家庭での看病も、看護の一つの形です。



21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女を問わずだれもがはぐくむきっかけとなるよう、平成3年に、「看護の日」が制定されました。5月12日が看護の日となったのは、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲール(1820～1910)の誕生日にちなんだものです。

看護の心を広げよう

大事な人が病気になったときには、だれでも「早く元気になってほしい」「少しでも楽にしてあげたい」と思います。そして、自分がしてあげられることとはなにかと、看病したり、やさしく接したりする...

もっと多くの人たちにも広げていくことが大切になっていくのではないのでしょうか。

厚生連滑川病院

ふれあい看護体験

- とき 5月12日(水) 午前8時30分～正午
- ところ 厚生連滑川病院
- 対象 外来患者
- 内容 ・車いす運搬など相談に応じての体験

・看護グッズの展示

- ・身体、肥満度の測定など
- 問合せ先 厚生連滑川病院 (0475・1000)

患者さんがどのようなことで困り、どうして欲しいのか聞くことが大切です...

いきいき 自分再発見教室

「健やかな老後に備えて」

生き生きとした日々を過せるよう、多方面からの体験学習を通じ、自分探し「老後の《自立》した生き方を学びましょう。

- ◆とき 5月26日(水)、6月16日(水)、7月14日(水)、8月9日(月)、9月1日(水)、10月6日(水)、10月31日(日)、11月17日(水)、12月1日(水)、1月12日(水)、3月2日(水)(全11回)
- ◆ところ 社会福祉センター内
- ◆対象者 ◆65歳以上の方で、できるだけ全日程参加できる方 30名
- ◆参加費 ◆材料実費程度

*参加申込みなど、詳しくは、市在宅介護支援センター (0476・9400)

皆さんもこんな経験、ありませんか。病気で苦しむ人に対するそうしたやさしい気持ち「看護の心」です。病気やけがをしているときは気分も沈みがちになるものですが、そんなとき、看護してくれる人の存在は精神的な支えにもなるものです。しかし、最近では、少子高齢化や核家族化が進み、家族などによる看護を受けられない人も少なくありません。そんなふうな家族の在り方が変わってきているなかで、私たち一人一人がもっている看護の心を身近な人たちだけでなく、



～患者さんの立場になってケアさせていただいています～

1日まちの保健室

- 看護の地域ネットワークで健康な心と体をサポートします。
- とき 5月9日(日) 午前10時～午後12時30分
- ところ プラント3滑川店
- 内容 健康相談コーナー
○血圧測定
○体脂肪測定
アルコールパッチテスト
コーナー
ステキな看護師さん写真展
(主催 富山県看護協会)